



# 横浜陶芸友の会だより

第 180 号

令和 3 年

8 月 25 日発行

来春にはコロナ禍が縮小して  
『作品展が開催』されますように

横浜陶芸友の会 会長 高橋 光男

例年であれば、夏休みの  
シーズンで帰省や旅行、会食  
などの機会が増える時期です  
が、皆様いかがお過ごしですか。

神奈川県には 8 月 2 日から 8 月 31 日まで  
の間、緊急事態宣言を发出されました。

感染が急速に拡大している現状においては、  
会員が集まって総会や役員会で今後の行事等  
計画を練ることが 2 年連続でできない現状と  
なりました。

「総会」については昨年同様、決算、予算  
書、役員選出を「書面表決」でお願いするこ  
とにいたします。

その他の行事につきましては各部で立案し  
たものを、オンラインで役員会などで協議・  
確認および承認したうえで、会員に周知して  
遂行していく考えていますので、奮って参加  
のほどよろしく願います。

行事の変更等が生じたときは、メール・ラ  
イン並びにホームページ等で連絡いたします  
ので登録のほどよろしく願います。  
会員の皆様に来春の「作品展」で、多数の  
出展作品と共にお会いするのを楽しみにして  
おりますので、健康にお過ごしください。

## 「総務部からの報告」

「令和 3 年度総会議案」は

賛成多数で可決 されました。

※ 8 月 17 日到着分 24 通全て賛成(会員 34 名)

コロナワクチン接種により、コロナ感染症  
縮小され役員会等ができることを願いながら  
模索していましたが、感染症緊急事態宣言発  
出されましたので、8 月 10 日オンラインで  
「部長会」を行い、「令和 3 年度総会」は昨年  
同様「書面表決」することにいたしました。

## 陶芸用釉薬、粘土等の廃棄処分

皆様にお知らせです

「友の会だより」8 月号に「専修教室お知  
らせ」、「作品展日程」等お知らせを掲載する  
ため書面評決日程を短縮いたしましたことは  
誠に申し訳ありませんでした。

横浜陶芸友の会

2020 年度決算書・2021 年度予算書

○第 42 回「作品展」開催日 決定

事業部より

昨年度の「第 42 回作品展」は、コロナ感染  
予防対策の準備も行い参加者からの申し込み  
も届き、後は無事に開催できることを願うば  
かりでしたが、感染拡大のため急遽中止とな  
りました。

今年度は、開催できることを願いつつ  
「かなつくホール」への申し込みを行ないま  
した。結果次のように決定いたしました。

(期日)  
令和 4 年 1 月 11 日(火) ～ 16 日(日)  
(会場)  
「かなつくホール」3 階 A 室

(特設コーナー) 課題は「片口」です。

※名前プレートを準備するために、「作品展  
参加申し込み」の時点で特設コーナーへの  
参加意思を必ずお書きください。

☆「作品展」の詳細については次回 11 月号  
発送時に同封いたします。

◎昨年度、出品予定していた作品や、新た  
に制作した作品など、たくさん出展されるこ  
とを期待しております。

なお、昨年同様、間際になっての中止も考  
えられます。が、今の時点では、開催される  
方向で準備を進めていきます。

皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

「秋期焼成会の日程」

「秋期焼成会」の日程が決まりました  
のでお知らせいたします。

- ・ 9 月 4 日 (土) 受付  
AM10 時集合
- ・ 11 日 (土) 釉掛け  
AM10 時開始
- ・ 18 日 (土) 作品引渡  
AM10 時

専修部より

※場所は例年通り関内 技能文化会館

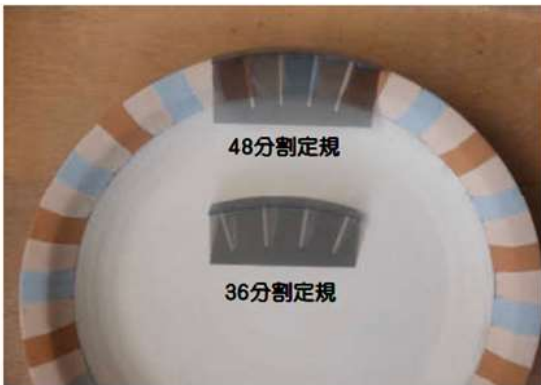
4 月号でも紹介したように、**今年**は**釉薬を  
一新**しましたので、この機会に是非ご参加  
ください。

コロナで会員皆様ともお会いできていま  
せないので、楽しいひと時が過ぎますように！



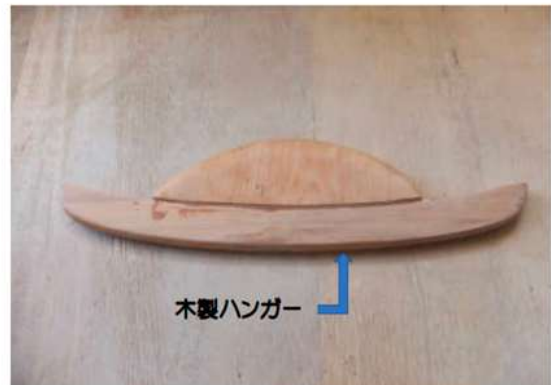
鍋島作「アマビエ」  
早くコロナが終息する  
ことを願います

鈴木貴久さん作「手作り道具」の紹介



等角度分割定規

円形を多分割するのは手間がかかる  
定規を口辺にあて順に回して分割線を描く



大皿用コテ

皿の底を広くて緩いカーブにするのは結構  
難しい。木製ハンガーを改造してみました。

# 陶陶さん

第102号

あかほし



「**緋色**の火間」 織部角皿  
もぐさ土・ガス窯焼成

織部釉の掛け残しの部分に緋色釉をかけてみました

紅志野「志野角皿」  
もぐさ土・ガス窯焼成

弁柄と紅呉須の化粧土で変化を付けました

今年のテーマは「**紅(緋色)**」

井上 明

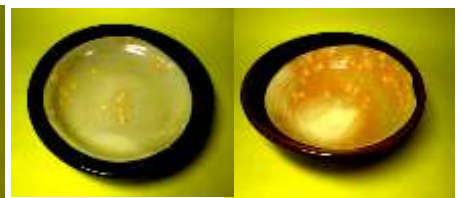
令和3年『紙上作品展』紹介②

〈今年の作品展出展予定の中から一部紹介〉



「**紅葉**」のイメージで釉を作りました。「湯呑」  
もぐさ土・ガス窯焼成

多くの黄瀬戸釉のサンプルの中から、さらに改良して作りました



御本手粉引「**紅斑**」 中鉢  
御本手土・ガス窯焼成

粉引は化粧土と素地土の収縮の違いで口辺の化粧土が欠けやすい。そこに補強とアクセントを兼ね別の釉薬(柿釉・青織部)をかけてみました

【編集後記】

・新型コロナ感染拡大の中、役員間のコミュニケーションがうまく取れず、会報の発行が大幅に遅れてしまいました。

誠に申し訳ありません。

専修部の「焼成会」の受付期間が間近に迫り参加を予定されていた方には、大変ご迷惑をお掛けいたしました。お詫びいたします。

「総会」も、昨年に引き続き「書面表決」での可決となりました。

「作品展」も開催の方向で動いてはいますが、コロナワクチンの効果により終息の兆しが見えることを願うばかりです。

開催の場合は、安全安心を十分に考えて、実施していきましょう。

感染に気を使いながらの日々ですが、来年1月の「作品展」でお会いできるのを楽しみにしております。

鍋島弘義

ホームページもチェック!!

横浜陶芸友の会

検索

<http://www20.atpages.jp/tomonokai/>

横浜陶芸友の会だより  
第180号

(令和3年8月1日発行)